

達人です

(40)

頭と身体は使ってこそ

渡辺正治さん

83歳 (大日比区)

「人に頼まれて、3人の名僧「法岸」「法洲」「法道」の行状記を読みやすい現代語に訳した。「1日13時間、7年かかりました。専門の方に教えてもらったり、大変でしたがおもしろかったですね」今は自分の伝記をワープロでうっているそうで、9割方できあがっている。「子どもでも読んでくれればと思うんですが…、人の伝記を読んでもね」と。

7年前、胃の手術をした。「今は生きること一生懸命です」食前と食後には毎日5kmほど歩かし、毎日ワープロもたたいている。「頭と身体は使わなくてはだめですから」と。「これからも日々健康で、毎日を愉快地に過ごしたいと思っています。100歳まで元気でいたいですね」

わくわく ひろば

市民の皆さんのページです
あなたの情報で、ひろばは
さらにイキイキ ☎231117

エンジョイ

仲間達

(37)



山田 七恵さん
(旭町区)

コートで逢いましょう

仙崎ミニバス

「今度、ミニバスケのクラブを作ろうと思うけど参加する？」ボソッと言ったつもりがあつと言う間に25人の部員が集まった。

6分間の4クォーター制で、ベンチ入りした全員が出場というルールも気に入ってか、男女を問わず小学生を中心に中学

生・高校生も参加しての楽しい練習だ。BGMに「ガッツだぜ」を流しながら週3回コートを走り回る。基礎体力を身につけて誰もが主役のゲーム作りをしていきたい。

夏合宿も終え、萩での招待試合を目標に中学生の胸を借りながらいい汗を流している子ども達です。

甘くてちよっぴりきびしいクッキーモンスターズをよろしく。



(30)

ちょっと小耳にはさんだ

長門文化協会の

新しい発足に寄せて

岩田 啓靖さん

(門前区)



8月7日、長門の文化をたかめる会が解散、同日長門文化協会設立総会が開かれ、初代会長に大寧寺住職で山口県立大学文学部教授の岩田啓靖さんが就任されました。思いの一端を岩田会長に寄稿いただきました。

「この度、『長門文化協会』が設立されました。この協会の目的は、長門・大津地方の風物や歴史にしっかりと根をおろした、市民の誇りとなる自前の文化創造や文化活動を支援し推進する母体になろうとするものです。これまで努力を積み上げてこられた『長門の文化をたかめる会』の成果を発展的に受け継ぐ組織となります。」

『もの』から『ところ』へと国民や市民の価値観が確実に変わっていくなかで、週休2日制の定着など余暇の過ごし方に生活者の知恵が問われる時代になりました。文化に対する要望は多様化し、高度化していきます。もはや文化振興を抜きにして個性あるまちづくりを語ることはできません。

今後、文化に対する幅広い市民の関心を結集して、優れた文化にふれる機会、発表や表現の場の整備など、意欲的に文化の環境づくりに取り組みたいと思っています。

みなさまの理解とご協力を切望しています」

長門文化協会設立総会

